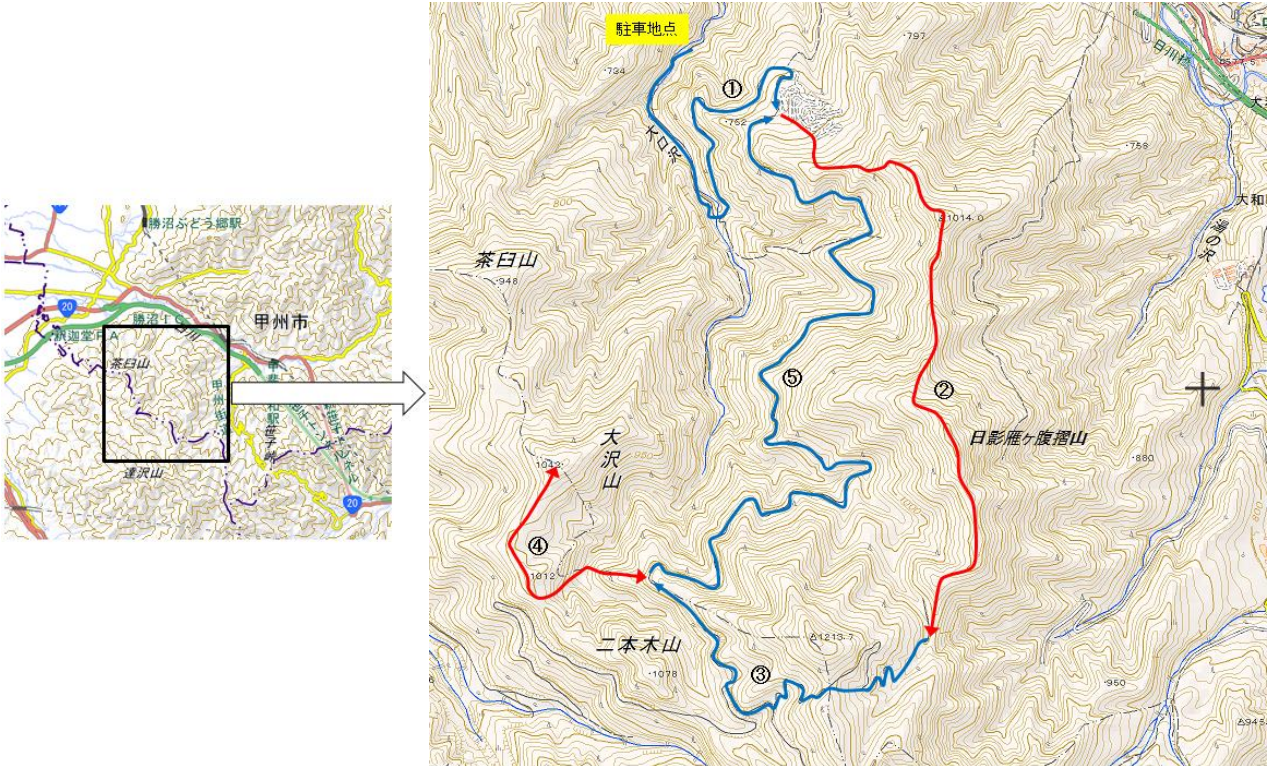


御坂山塊 日影雁ヶ腹摺山～大沢山 山行報告

【日程】 2019.4.17(水)

【参加者】 CL 柘植 SL 澤田路 杉山 高地

【行程】 駐車地点 8:20→1014m 三角点 (岩崎前山) 9:30→日影雁ヶ腹摺山 10:10
→林道カーブ地点→大沢山 12:30→林道カーブ地点→14:50 駐車地点



【記録】

銚子や甲斐大和駅周辺の山にはずいぶん登っているが、中央道と達沢山のあいだの大きな空白地帯が以前から気になっていた。そのすぐ左は桃の花ハイクなどで結構歩かれているエリアがあるが、上左図の黒枠内には根張りのしっかりした尾根があるが登山道表記がない。ここは歩いたら楽しいだろうと思い、NET で調べてみるとこの尾根を歩いている記録がいくつか見つかった。この尾根の最高点(三角点なし)は日影雁ヶ腹摺山というようだ。雁ヶ腹摺山はこの付近には3つあるが、第4の雁ヶ腹摺山らしい。早速同好(?)の仲間を誘い、出かけてみた。大口沢沿いに駐車スペースを見つけ、林道を歩いてクロスパーク勝沼というモトクロスコース(今週土曜日に開場らしい)からスタートする。



クロスパーク勝沼からスタート



稜線は好ましいカラマツの尾根

稜線までの急登にもバイクの轍があり、モトクロス用バイクの能力には驚いてしまう。1014m 三角点は岩崎山前山と書いた看板があるがほとんど字が消えて見えない。この名称から本命の日影雁ヶ腹摺山は別名岩崎山であることが分かる。岩崎山前山は写真だけ撮ってすぐ出発する。



岩崎山前山の山頂プレート（字が薄い！）



急登地帯を頑張る

この稜線には指導標とかは皆無だが、ラッキーにもというか期待に反してというかしっかりした踏み跡があり、歩行には全く問題はない。ただ進行方向左手は自然林で展望も利いて好ましいのだが、進行右手はずっと植林で暗く、ここは気に入らない。一部急登があったが、短い区間であったので頑張って登りきると待望の日影雁ヶ腹摺山であった。この山の麓には大和町日影という地名があり、これが山名由来と思うが、山頂は天気のせいならず植林のために十分に薄暗く、これも地名の一因かなどと考えてしまう。



日影雁ヶ腹摺山（岩崎山）の山頂



最後の大沢山（標識の字が薄い！）

日影雁ヶ腹摺山からさらに南に進むと林道に出る。ここからしばらく(1時間くらい?)は新旧の林道をつないで歩く。林道が大きくU字型カーブを描くところから次の大沢山を目指して枝尾根に踏み込む。ここには薄い踏み跡や赤テープがあり、わずかではあるが歩かれているようだ。一旦大口沢の源流に下りたち、すこし登り返すと二本木山からの稜線、さらに10分ほど北進すると大沢山の山頂であった。ここはこれまでのピークのなかでも最もなだらかなせいもあり、山頂は疎林のなかでほとんど展望がない。さてこれからどうするかだが、計画書に書いた茶臼山まで行くと下降にちょっと懸念があるので、ここからさきほどの林道カーブ地点まで戻り、そこから林道を歩いて駐車地点に戻ることにした。林道歩きは1時間半ほどであったが、つきない四方山話であり苦にはならなかった。こういうマイナー山行にお付き合いいただいた3名のかた、お疲れ様でした！